



平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名	三 光 産 業 株 式 会 社		
代 表 者 名	代表取締役社長	遠藤 幹雄	
(コード番号	7922)		
問合せ先責任者	取締役経理担当	高橋 光弘	
(TEL	03-3403-8134)		

**営業外収益（為替差益）の減少、特別損失の計上及び
繰延税金資産の計上に関するお知らせ**

当社は、平成 29 年 3 月期決算において、下記の通り営業外収益（為替差益）が減少し、特別損失及び繰延税金資産を計上する見込となりましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の減少について

平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）において、為替差益を連結で 37 百万円、個別で 26 百万円営業外収益に計上いたしましたが、その後の為替相場の変動により、平成 29 年 3 月期通期の為替差益は連結で 3 百万円、個別で 7 百万円に減少する見込となりました。

2. 特別損失の計上について

(1) 連結財務諸表における特別損失の内容

当社の連結子会社であるサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. は、シールラベル事業の拡大と収益向上を目的として、タイ王国に平成 27 年 5 月に設立いたしました。足許の業績が当初計画から乖離したため、固定資産の減損処理 103 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

当初計画に対して遅れてはおりますが、業績の早期改善に向けて、国内外からの支援により営業、生産体制の強化に取り組んでおります。

(2) 個別財務諸表における特別損失の内容

当社の連結子会社サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. の現状の事業状況を踏まえ、当社が保有する同社株式に対して関係会社株式評価損 73 百万円、同社への関係会社貸付金に対して貸倒引当金繰入額 161 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

なお、当該関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額は、連結決算上相殺消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 繰延税金資産の計上について

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、将来減算一時差異にかかる評価性引当金を減額することなどにより、繰延税金資産を計上する見込みであります。これにより、平成 29 年 3 月期通期の法人税等調整額は、連結で△70 百万円、個別で△75 百万円となる見込みであります。

4. 業績に与える影響

上記の営業外収益の減少、特別損失及び繰延税金資産の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上